

読めない、書けない、どこにあるか分からない

読めない、書けない、どこにあるか分からない。そんな汚名を返上しよう、宍粟市は24日、読みづらいとされる市名をPRするCMコンテストを2012年度に開催すると発表した。優秀作をインターネット上の動画サイトなどで放映し、知名度アップを図る。

国内の変わった地名を集

しろうし 宍粟市を有名に

新年度 CMコンテスト

めた書籍に宍粟市が「西の横綱」と紹介されたことがきっかけ。読みにくいことを逆手に取り、全国にPRしよう」と企画した。市まちづくり推進課によると、「あなぐりし」と間違われるほか、市外からの郵便物でも「六」栗の誤字が多く見られるという。コンテストの詳細は未定だが、9月をめどに募集要項や審査基準をまとめる。全国から50の映像作品を集めることを目標にし、賞金は最優秀20万円、優秀5万円(2本)、入賞1万円(4本)。名刺に「しろう」とふりがなを入れている田路勝市長は「私の名前も読みにくい、宍粟の名前をまず広めることで、観光資源や特産品の知名度アップにつなげたい」と話している。

宍粟市予算案

3年ぶり減 219億4000万円

大規模事業抑え堅実型

宍粟市は24日、2012年度一般会計当初予算案を発表した。前年度当初比3・5%減の219億4000万円、3年ぶりに減少。予算規模は05年の合併以来、最も小さく、大規模な公共事業を抑えた堅実型予算となった。3月1日開会の市議会に提案する。(長野祐気)

歳入では、市税収入が1・5%増の46億2100万円。個人市民税が年少扶養控除の廃止などで7・4%増の14億9800万円と膨らみ、法人市民税も企業業績の持ち直しで4・9%増

の2億6600万円を見込んだ。一方、固定資産税は評価替えなどで0・6%減の23億6300万円。市債発行は、16・4%減の24億円にとどめた。

歳出では、義務的経費が6・2%減の103億7200万円。このうち、人件費は職員採用数を減らしたこと、3・4%減の41億6900万円に抑制。知的障害者授産施設「さつき園」の民営化に伴う運営費削減などで扶助費が4・8%減の29億8800万円になった。普通建設事業費は、旧庁舎解体工事を終えるなどしたため7・5%減の19億3800万円。

新規事業は▽再生可能エネルギーや循環型社会についての調査検討費(500万円)▽原不動滝公園周辺整備事業(500万円)▽消防無線のデジタル化に向けた設計調査費(1300万円)――など。